

社会福祉法人

## 静岡いのちの電話



(写真提供 広報委員会 (2023年2月撮影))

## CONTENTS

- ▶ 姫 欽 理事長 中井弘和 …… 2
- ▶ 2022年度事業報告 …… 3
- ▶ 2022年度決算報告及び2023年度予算 …… 4
- ▶ 2023年度事業計画 …… 5
- ▶ 資金ボランティアの皆様 …… 5・6
- ▶ 報告 …… 7
- ▶ 電話相談ボランティア募集 …… 8
- ▶ 養成講座に応募した時のこと …… 8

私の  
推し  
スポット

## 源兵衛川

三島分室のある三島市は、富士山の湧水が豊富な「水の都・三島」といわれています。その水の都を代表する水辺スポットが源兵衛川です。三島駅から徒歩5分の近さで、夏には蛸が舞い、川の中には飛び石や木道が設置され、せせらぎの中を散策できます。



発行 社会福祉法人 静岡いのちの電話

〒420-8691 日本郵便(株)静岡中央郵便局 私書箱200号

TEL: 054-272-4344 FAX: 054-255-1817

郵便振替口座番号 00880-0-33857

URL <http://www.shizuoka-inochi.jp>

静岡いのちの電話

検索

# 姫 鋤

静岡いのちの電話理事長 中 井 弘 和

「姫鋤」と称する鋤を手に入れてわが家の小さな菜園を耕しています。幸せを感じるひと時です。姫鋤は会津若松の城下町に在る創業百年という鍛冶屋の老職人が打ち出したものです。戦中戦後のころ村には戦争に取られて若い男たちの姿はなく、女性や子供たちが鋤を打ち振るう姿を目にして当鍛冶屋が製作したのだと聞いています。ステンレスに鋼（はがね）の刃先を溶接し軽くてさびにくいのが特徴です。鋤の柄は国産の軽くて丈夫な朴の木（ほうのき）を2年かけて天日乾燥し、一本一本を手で削り作っています。

鍛冶屋は、当時、村に1軒はあり、会津地方全体で百三十軒ほどあったと言います。今では福島県全体でも2軒を残すばかりとなりました。鍛冶屋という存在が日本から消えつつあるとあってよいでしょう。『しばしも休まず槌打つ響き 飛び散る火花よはしる湯玉 ふいごの風さえ息をもつがず 仕事にせい出す 村のかじ屋』わたしたち年配者がかつて元気よく歌った唱歌は遙か昔に学校では教えなくなっています。

姫鋤を世に広めようと働き始めたのは当老職人の孫娘、堤秀子さんです。長く家を出て他の職業に就いていたのですが、あるとき姫鋤の大切さに気づき家に戻りおじいさんに弟子入りすることになったのです。人の心身を造る食べものを生み出すのが土であり、その土を耕し豊かにする鋤の大切さに思い至ったとのことでした。道具はもともと人の手としての役割を果たしていました。それが進歩して機械となりやがて人を支配するキカイとなっていく（いった）と考えることができます。キカイとは当節話題のAI、「チャットGPT」のことなどをイメージしていただければよいでしょう。

人が精魂を込めて鋤をつくり、人と土が繋がり共鳴し合って、互いのいのちを共生します。キカイやAIにはそれができません。ひとり一人の心の苦しみに寄り添い癒すことは決してできないと思います。今は人が土・自然との本来の繋がりを復活し、いのちや魂を輝かせて生きる世界を創る努力をすべき時機と言えるでしょう。人が、電話を通じて、人の心・言葉に聴き、寄り添い手を差し伸べる「いのちの電話」は、その世界を実現するひとつの働きであると信じています。



# 2022年度事業報告

※理事会で承認された事業報告を要約して記載

## 1 電話相談員

### (1) 相談員の拡充

静岡いのちの電話相談員は2022年4月現在、登録相談員数は79名であったが、年度内に21期生が5月に1名、22期生が1月に15名認定され、相談活動に加わった。10月からは23期生の養成研修が始まり、6人の研修が始まった。

### (2) 相談員の研修

電話相談員の資質向上のための継続研修及び個人スーパービジョン研修を実施した他、12月と2月には相談員全体研修を実施した。

### (3) 相談員の支援

新たに認定され実務に参加した相談員や、困難な相談を受けた相談員を支援するために、「お助け隊」や「ささえあい活動」などを積極的に活用し支援活動を行った。

### (4) 相談員の表彰

相談時間が、1000時間に達した6名、500時間に達した5名の相談員に対し理事長から感謝状及び記念品を贈呈した。

## 2 受信状況 (暦年)

### (1) 静岡いのちの電話相談件数と自殺志向相談電話

2022年の相談件数は8,821件で、前年に比べ183件減少した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により相談枠の減少が響いたこと、休務等による実務相談員の減少によるものと思われる。

### (2) フリーダイヤル・インターネット

(全国共通、静岡分)

日本いのちの電話連盟と連携しながら、フリー

ダイヤル電話相談を実施した。さらに6月からは、連盟の要請により、毎日フリーダイヤル事業に参加した。日本いのちの電話連盟インターネット相談は、相談員研修を2名が受講し合計7名となり体制が強化された。

## 3 公益事業

### (1) 電話相談ポスターの掲示・カードの配布

赤い羽根共同募金の助成を受け、医療機関、ハローワーク、公民館などにいのちの電話呼びかけポスター750枚を配布した。

### (2) 講演会・映画会

#### ① 静岡いのちの電話自殺予防公開講演会

令和4年7月10日にアイセル21ホールにて実施し、120名が参加。演題は「良い眠りが認知症を予防する」講師は功刀 弘 氏

#### ② 赤い羽根自殺予防講演会

令和4年10月30日に、静岡労政会館ホールにて実施し、140名が参加。演題は「コロナ禍、自分にできることは」講師は湯浅 誠 氏。

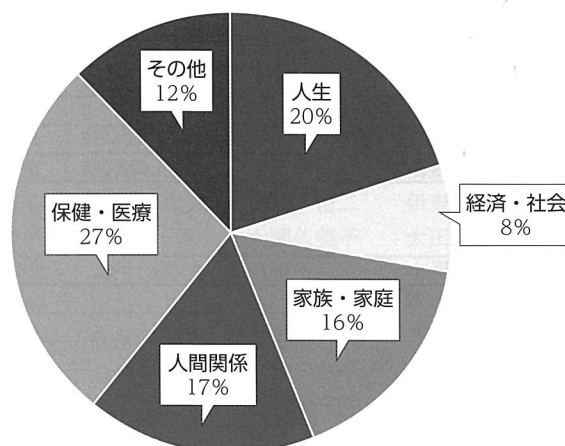
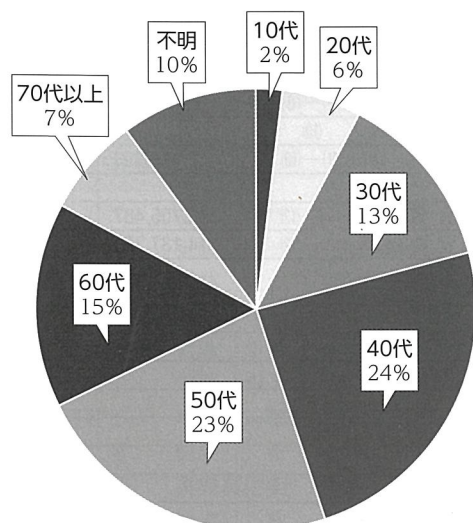
#### ③ 自殺予防公開映画会

令和5年1月22日に、サールナートホールにて実施し、180名が参加。上映映画は「痛くない死に方」(主演：柄本 佑)

## 4 広報事業 (広報誌の発行)

6月及び12月に広報誌を発行した。12月には一部をカラー刷りとするなど、紙面を刷新しイメージアップに努めた。

2022年受信件数(8,821件)の年代別内訳と相談内容別割合



# 社会福祉法人 静岡いのちの電話

## 2022年度決算報告及び2023年度予算

### 貸借対照表

2022年3月31日 現在 (単位:円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[流動資産]	14,137,780	[流動負債]	0
現金預金	11,102,764	預り金	0
未収金	3,035,016	前受け金	0
[固定資産]	18,626,843	[固定負債]	0
基本財産定期預金	10,539,094	[基本金]	10,539,094
器具及び備品	1,500,809	[国庫補助金等特別積立金]	1,022,981
権利	76,440	[施設設備整備他積立金]	6,510,500
ソフトウェア	0	[次期繰越活動増減差額]	14,692,048
施設設備整備他積立資産	6,510,500	(内:当期活動増減差額)	(256,246)
合計	32,764,623	合計	32,764,623

### 2022年度 事業活動計算書、資金収支計算書及び2023年度予算

(単位:円)

事業活動計算書				資金収支計算書			
区 分		2022年度決算		2022年度決算		2023年度予算	
科 目		金 額		金 額		金 額	
<b>[サービス活動増減の部]</b>				<b>[事業活動による収支]</b>			
会費収益	2,668,380	2,882,000	会費収入	2,668,380	2,660,000	2,660,000	
電話相談事業収益	5,325,056	5,746,009	電話相談事業収入	5,325,056	5,628,000	5,628,000	
経常経費寄附金収益	2,983,374	2,522,636	経常経費寄附金収入	2,983,374	2,570,000	2,570,000	
その他の収益	0	0	受取利息配当金収入	431	2,000	2,000	
サービス活動収益計(1)	10,976,810	11,150,645	その他の収入	0	0	0	
人件費	2,891,227	2,855,901	事業活動収入計(1)	10,977,241	10,860,000	10,860,000	
事業費	3,567,068	4,015,207	人件費支出	2,891,227	3,181,000	3,181,000	
事務費	4,071,653	2,942,572	事業費支出	3,567,068	3,985,000	3,985,000	
減価償却費	770,274	705,962	事務費支出	4,071,653	4,622,000	4,622,000	
国庫補助金等積立金取崩額	-429,227	-390,320	その他の支出	0	0	0	
その他の費用	0	0	事業活動支出計(2)	10,529,948	11,788,000	11,788,000	
サービス活動費用計(2)	10,870,995	10,129,322	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	447,293	-928,000	-928,000	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	105,815	1,021,323	<b>[施設整備等による収支]</b>				
<b>[サービス活動外増減の部]</b>				施設整備等補助金収入	150,000	100,000	
受取利息配当金収益	431	429	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
その他の収益	0	0	施設整備等収入計(4)	150,000	100,000	100,000	
サービス活動外収益計(4)	431	429	固定資産取得支出	165,000	165,000	165,000	
サービス活動外費用計(5)	0	0	固定資産除去・廃棄支出	0	0	0	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	431	429	施設整備等支出計(5)	165,000	165,000	165,000	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	106,246	1,021,752	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-15,000	-65,000	-65,000	
<b>[特別増減の部]</b>				<b>[その他の活動による収支]</b>			
施設整備等補助金収益	150,000	1,599,590	積立資産取崩収入	0	500,000	500,000	
固定資産受増額	0	0	サービス区分間繰入金収入	0	0	0	
特別収益計(8)	150,000	1,599,590	その他の活動による収入	0	500,000	500,000	
固定資産売却損・処分損	0	2	その他の活動による収入計(7)	0	500,000	500,000	
国庫補助金等積立金積立額	0	1,599,590	積立資産支出	0	0	0	
特別費用計(9)	0	1,599,592	サービス区分間繰入金支出	0	0	0	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	150,000	-2	その他の活動による支出計(8)	0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	256,246	1,021,750	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	500,000	500,000	
<b>[繰越活動増減差額の部]</b>				予備費(10)	0	7,000	
前期繰越活動増減差額(12)	14,435,802	13,914,052	当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	432,293	▲500,000	▲500,000	
その他の積立金取崩額(14)	0	0	前期末支払資金残高(12)	13,705,487	13,205,487	13,205,487	
その他の積立金積立額(13)	0	500,000	当期末支払資金残高(11)+(12)	14,137,780	12,705,487	12,705,487	
次期繰越活動増減差額((11)+(12)+(14)-(13))	14,692,048	14,435,802					

### 財産目録

2022年3月31日 現在 (単位:円)

科 目		金 額	
[流動資産]	14,137,780	ソフトウェア	0
現金預金	11,102,764	権利	76,440
未収金	3,035,016	施設設備整備他積立資産	6,510,500
[固定資産]	18,626,843	[流動負債]	0
基本財産定期預金	10,539,094	[固定負債]	0
器具及び備品	1,500,809	差引純資産	32,764,623

# 2023年度事業計画

※理事会で承認された事業計画を要約して記載

## ① 電話相談員

### (1) 相談員の拡充

2023年3月現在、登録相談員数は79名である。2023年度中には22期生2名と23期生6名が実務に参加する予定であるが、さらに相談員の増加を目指し、24期生の受講生募集を6月から開始し、研修を10月には開始する。

### (2) 相談員の研修

相談員を8グループに分け毎月実施する継続グループ研修の他、相談員全体研修会、個人スーパービジョン研修、自己啓発研修を実施する。

### (3) 相談員の支援

新規認定相談員や困難な相談を受けた相談員を支援するため、「ささえあい活動」、「相談員の居場所」を、また突然電話担当ができなくなった相談員の相談枠確保のため「お助け隊」活動を実施し、支援活動を行う。

## ② 受信状況

### (1) 電話相談件数

2022年の総受信件数は前年に比べ減少し、コロナ禍により約1か月半休止した2020年に並んだ。全体的には長期的に減少傾向にあるといえる。この原因はコロナ禍による相談枠の減少、登録相談員の漸減によるものであり、相談員活動の環境整備をさらに進め、休務者を減らし、相談枠を確保することにより、受信件数を増加に転じていく。

### (2) フリーダイヤル電話相談

日本いのちの電話連盟の要望により、昨年7月から毎月10日だけでなく、毎日フリーダイヤル

が実施された。今後相談員に働きかけ、実施件数を増やしていく。

### (3) インターネット相談

日本いのちの電話連盟の研修により、相談員を増員していく。

## ③ 公益事業

### (1) 中学生向け自殺予防カードの配布・電話相談ポスターの掲示

赤い羽根共同募金の助成を受け、中学生を主な対象とし、悩みの相談を促す電話相談カードを8万枚印刷し、7月中旬までに県内東・中部の中学校へ配布する。

### (2) 講演会・映画会

厚生労働省の助成により「静岡いのちの電話自殺予防静岡講演会」を5月13日に大空幸星氏を講師に迎え実施するほか、「市民公開講座、映画上映会」を計画的に実施する。

### (3) 会員・寄付金の拡充

広報誌、新聞等のマスメディア、関係者のクチコミ等により、社会福祉法人静岡いのちの電話の存在をPRすることにより、会員数、寄付金額の増加を目指す。

## ④ 広報事業

6月及び12月に広報誌を発行する。また、現在のホームページを更新し、スマートフォンにも対応できるようにする。

## 資金ボランティアの皆様

静岡いのちの電話の活動に心温まるご支援をありがとうございました。2022年4月1日から2023年3月31日までに会費や寄付などのご協力をいただいた皆様は次のとおりです。心より感謝申し上げますとともに引き続きよろしく願いいたします。

### 個人会員

相川 好江	青木 賢吾	青木 章一	青木 直子	青木 光枝	青島加代子	青島 敏江	青嶋 亨
青野 剛明	青柳 恵子	赤井佳壽子	赤木 桂子	赤堀 恵	浅井 順子	浅野 加子	浅倉さち子
天野 滋	新井 文子	飯塚美智子	伊澤 律子	石井 広美	石岡 治江	石上 俊二	伊東 園子
伊藤 傳治	磯谷 嘉宏	岩田 七江	岩本あけみ	遠藤百合子	大石喜一郎	大関久美子	太田たまき
太田 由実	大塚 幸子	大畑 公子	大戸 宏文	緒方 弥生	岡村 宏枝	尾崎千恵子	小澤 文郎
角田 裕子	笠原 恵子	勝又 秀子	梶山 幸子	神瀬 眞一	川島 円	川口勢津子	河守 博一
河原崎時子	木村 聡	木田 文夫	櫛田 勝朗	櫛田 節子	久保田愛子	久保田一枝	黒沼 宏一
古賀 文彦	佐藤 豊	佐尾かね子	佐川 博	佐野 雅子	塩津美代子	品田 恭子	柴山 恭子
篠原 幹男	真覚真由美	嶋田佳代子	清水紀代子	杉浦 陽子	杉山 恵子	杉山美和子	鈴置 昌裕
鈴木 昌規	鈴木 武	鈴木 直子	鈴木 英夫	鈴木めぐみ	外田 耐子	外立 昌子	外田 雅樹

(※敬称略)

高塚美代子	高木 直子	田口 博之	田中 久子	武井 陽一	竹内 俊明	竹内 雅子	竹安 卯起
多々良幸子	多々良茂樹	田原小夜子	田平 育代	土屋 貢	長濱 浩代	寺尾 文子	外岡 長城
戸嶋 光子	戸塚 弘道	内藤美代子	鳴海 友子	永井 滋乃	中村 文裕	中山 秀子	芳賀 美江
八束 正彦	濱 美知子	原 邦子	原 直美	原田 貴之	林 のぶ	兵頭 正敏	平岡 宏子
平岡美佐江	福島 浩	福島 泰子	福家 公子	藤井 陽子	舟貝 敏行	古橋 聰一	古屋 弘子
細川 直美	前澤 陽子	牧野 崇	増井 悦子	増井 均	松浦りえ子	松浦 和子	松永 修
宮城島 豊	宮川紀代美	宮崎起世子	宮崎 典子	村松美保子	村越 信子	粉山千恵子	森 美砂江
守屋 明	山岸美智子	山口 恵子	山口 芳枝	山崎 勲	山田 浩子	山田 美子	山本 嘉子
吉岡 秀規	吉崎けい子	吉田 和子	吉田由貴子	吉野 誉子			

## 団体会員

医療法人社団すだ医院 カトリック焼津教会愛徳会 (株)共栄設機 草薙カトリック教会 こばと薬局  
 佐藤燃料(株) 静岡ガス(株) 静岡銀行本店営業部 宗教法人宝台院 田代クリニック ひろメンタルクリニック  
 法伝寺 原医院 SUS(株) 愛徳カルメル修道会 いなば食品(株) (株)TOKAIホールディングス  
 (株)川崎宣弘社 (株)木村鋳造所 (株)ホテイフーズコーポレーション (株)マキヤ (株)村上開明堂 (株)山恭製紙所  
 木内建設(株) 静岡銀行秘書室 静岡県司法書士会 静岡県民共済生活協同組合 (株)静岡新聞社 静岡放送(株)  
 鈴与(株) 清和海運(株) てらだ医院 伝統美容サロン ハレ・オロオル はごろもフーズ(株)  
 医療法人社団やきつべの径診療所 (株)清水銀行

## 特別寄付 (個人)

(※敬称略)

青木 恵子	青島 敏江	青山 憲司	青山 春子	赤堀 恵	浅野 加子	新井 文子	有田モト子
大石 節子	太田 由実	尾崎 康人	笠原 純	神田 均	木村 聡	久保 京子	久保 伸年
黒沼 宏一	佐藤美智子	佐野 牧夫	澤野まり子	榛葉 和美	杉本 光子	杉山明喜雄	鈴木 清子
鈴木 武	外立 昌子	高須 和世	武井 陽一	竹内 俊明	塚本 雅子	栩木 陽子	中井 弘和
中山 仰	名倉慎一郎	南荘 和明	西尾 秀子	野村 諒子	芳賀 美江	馬場 喜美	平岡美佐江
舟貝 敏行	前澤 陽子	満井 義政	宮城島喜代子	宮崎起世子	村越 信子	守屋 明	山城 厚生
山田 英幸	山田 浩子	吉住 求	吉田由貴子	我妻 英樹			

## 特別寄付 (団体)

「小さな親切運動」静岡県本部 MOA健康生活ネットワーク カトリック焼津教会愛徳会 カトリック八幡教会  
 (株)三創 栗原法律事務所 こばと薬局 静岡英和女学院中学校・高等学校宗教部 大和証券(株)静岡支店  
 天使の聖母宣教修道女会 (株)西山興業 日本キリスト教団静岡草深教会 日本福音ルーテル栄光教会  
 日本福音ルーテル栄光教会藤枝女性会 日本福音ルーテル小鹿教会 (有)新日邦

## 改築準備積立金寄付

青木 直子 赤堀 恵 大戸 宏文 興津千代子 久保伸年 栗原法律事務所 武井 陽一  
 南荘 宏 渡邊 美樹

## 共同募金 (課題解決プロジェクト基金)

青島 敏江	青島加代子	青野 剛明	青山 春子	浅井 順子	飯塚 敬三	石井 広美	伊澤 律子
海野雅紀子	緒方 弥生	大戸 宏文	笠原 恵子	神田 均	栩木 陽子	小林 敏好	塩津美代子
柴田美佐子	真覚真由美	榛葉 和美	鈴木 武	田辺 雪子	土屋 貢	永井 滋乃	南荘 和明
芳賀 直哉	芳賀 美江	原田 貴之	兵頭 正敏	舟貝 敏行	藤井 陽子	松浦 和子	村越 信子
守屋 明	山田 浩子	吉田由貴子	(株)三創	静岡県国民健康保険団体連合会			

○2022年度に次の補助金・助成金等をいただき、有意義に使わせて頂きました。

ありがとうございました。

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| ① 静岡県から電話相談員確保強化・研修事業費補助金 | 789,000円   |
| ② 静岡市から電話事業費補助金           | 450,000円   |
| ③ 県共同募金会から電話相談員養成・研修事業助成金 | 1,480,000円 |
| ④ 課題解決プロジェクト募金助成金         | 179,040円   |
| ⑤ 県共同募金会から新型コロナ対策支援事業助成金  | 300,000円   |
| ⑥ 県から休日・夜間のこころの電話相談委託金    | 1,791,000円 |

感謝

## 第22期生に認定証が授与されました



1月21日に、第22期の相談員養成講座を受講し、晴れて相談員として認定された15人の方々に、中井理事長から認定証が授与されました。

中井理事長は挨拶の中で、コロナ、気候変動、ウクライナの戦争と命が危機に瀕しています。市民一人ひとりが命にしっかり向き合うことが求められており、今こそいのちの電話の活動の意義が認められています。この活動を通じて一人ひとりが幸せになることを祈っていますと話されました。

授与式の後、15人のうちお二人に今の心境などについて伺いました。

「認定証を受け取った今の気持ちは？」

A：ほっとしています。

B：仮認定を受けてから仮認定証を時々見ていました。認定証を受け取れて嬉しかった。

「どんな相談員になりたいですか？」

A：自分自身を含め、自分と関わる人を大事にできるようになりたい。

B：話しやすく、きちんと聞き取れる相談員になりたい。

「これから活動していく上で不安はありますか？」

A：研修を終わっていろいろ分かってきたことに実際向き合っていかなければならないという不安を感じます。

B：頭で分かっているけどできていないことが多いので不安です。

## 自殺予防映画会「痛くない死に方」を上映

1月22日(日)に静岡サールナートホールで、静岡いのちの電話自殺予防映画会が行われ、“痛くない死に方”を鑑賞しました。痛みを伴いながらも延命治療を続ける入院ではなく、“痛くない在宅医療”を選択した患者と家族と在宅医の物語でした。葛藤しながらも在宅医としてあるべき姿を模索し続ける医師、そして皆の心が通じ合い、患者は穏やかに人生を終えます。見終えたとき「人間っていいなあ…」と身体の中に温かなものが流れてきた映画でした。(参加者180人)

## 相談員全体研修会が開催されました

2月19日(日)に県総合社会福祉会館において、令和4年度第2回の相談員全体研修会が開催されました。まず、第1期から第22期まで期別に着席し、自由なテーマで話し合い、発表しました。現在活動している相談員の状況を改めて知ることができました。その後、「自殺危険度の高い電話への対応」をロールプレイを交えて学ぶとともに、日頃の対応を振り返り、分かち合いました。いずれも今後の相談員活動に役立つ大変有意義な研修会となりました。

# 電話相談ボランティア募集

かけがえのない「いのち」を尊重し、対話する  
電話相談ボランティアを募集しています。



## 【応募資格】

- ① 23歳から概ね65歳(2023年8月31日現在)
- ② 1年6か月間の養成研修全日程に参加できる人(月3回程度、初年度宿泊研修2回)
- ③ 電話相談ボランティアとして無償奉仕できる人(交通費も自己負担)

【受付期間】 2023年6月1日(木)～8月7日(月)

【養成研修期間】 2023年10月～2025年3月(3課程)

【養成研修受講料】 3万円(各課程1万円) ※宿泊研修費(約2万円)は別途

## 【応募方法】

募集要項をホームページからダウンロードいただくか  
事務局(Tel 054-272-4344 Fax 054-255-1817)にご請求の上、  
必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

## 私が電話相談員 養成講座に 応募した時のこと

応募の動機や背景は各人それぞれでしょう。私の場合は、たまたま募集の広報を目にしたことがきっかけだったと思います。人の役に立ちたいとか、困っている人のために何か手を差し伸べたいという思いからでは？という声が聞こえてきそうです。もちろんそういった思いも私の中にもあったのでしょうか。

トップ企業のCEOへの、どうやって今の地位を得たのかと言う質問に対して、この地位を得る為に並々ならない努力をした結果ですと答えた人は少なく、たまたま、偶然ですと言う答えが多いそうです。「これだ、やってみよう」という自分の感性と、機会を逃さずに主体性をもって行動した結果だと言うことでしょうか。

生命体の基本的最大の目的は個の保存と種の保存ですが、それだけではなく困っている人に手を差し伸べたいという気持ちを持つのが人間であり、徳と言うことでしょうか。

今世界は戦争、エネルギー、環境、格差問題等多くの課題に直面しています。その解決のキーワードの一つが「共感」だそうです。一人ひとりの人間関係の問題も社会規模の問題も根っこは同じなのかもしれません。まずは自分の周りの人との調和した関係を築いていきたいと思っている今日この頃です。(M.K.)

## 自殺予防講演会を 開催しました



5月13日(土)アイセル21(静岡市女性会館)で、NPO法人 あなたのいばしょ理事長 大空 幸星(おおぞら こうき)氏の講演(演題:「いのちと向き合う仕事～チャット相談の現場から～」)が行われました。望まない孤独により追い詰められていく人にとって、信頼できる人に確実にアクセスできる仕組みが必要、との思いでチャットによる24時間の無料相談を立ち上げ、現在海外を含め全国で700人の相談員が“傾聴”しています。相談し易いチャット形式、支援に繋げる仕組み、データを活かした分析、提言、そして相談員への支援など、いのちと向き合う現場で今の社会に必要とされる方法で行動する講師のお話でした。参加者からは「私も小さな依存先でありたい」「若い力に感服しました」などの感想が寄せられました。(参加者175人)

## 編集

## 後記

☆コロナ禍で三年間一度も会えなかった孫たちも高1と中2となりました。ラインで見るとばかりだった成長した姿をこれからは対面できる喜びと嬉しさを感じます。(H.M.)

☆4月から広報委員会の顔ぶれが大きく変わりました。新しいメンバーの下、更に読みやすく、内容の充実した広報誌をめざしていきたいと思えます。(A.N.)